

2 年次前期・必修

2 単位・30 時間

**【概要・目標】**

現代は人間関係を築くのが難しい時代だと考えられている。また、人間関係で悩んでいる人の数も年々増加していることが知られている。ここでは、人間関係の諸相を、自己理解、対人認知、コミュニケーションといった観点から検討する。とくに、「なぜ人間関係がうまくいかないのか」、「なぜうまく伝えられないのか」に関わる講義や実践を通して、医療の場に求められているコミュニケーションのあり方について考えてみたい。

**【授業内容のスケジュール】**

	担当
1) 集団の影響	石井
2) 同調	石井
3) 集団的意思決定の規範	石井
4) 集団的意思決定の罨	石井
5) チームワークとリーダーシップ	石井
6) 対人的意思決定とゲーム理論	石井
7) 社会的ジレンマ	石井
8) コミュニケーション論の基礎	増田
9) 記号論	増田
10) 非言語コミュニケーション	増田
11) 自己理解	増田
12) 自尊感情	増田
13) 自己開示・自己呈示	増田
14) ポライトネス理論(基礎篇)	増田
15) 心理学的な説得的コミュニケーション	増田

**【評価】**

石井担当回(50 点満点)と増田担当回(50 点満点)の合算で評価する。期末試験及び再試験を含め、両教員の担当授業は独立しているので注意すること

【石井担当回】筆記試験(80%)、提出物(10%)、発表(10%)により総合的に評価する。

【増田担当回】期末試験は授業時間 1 コマ相当分を用いた問題選択式記号選択式試験と問題選択式論述式試験の組み合わせであり、それぞれ 24 点満点、合計 48 点満点で絶対評価される。記号選択式では 24 問出題される。但し、正答 1 問 4 点加点、誤答 1 問 4 点減点である。論述式では 4 問出題されるうち、1 問のみを選んで回答する。

**【教科書】【推薦参考図書】**

【石井担当回】使用しない。

【増田担当回】以下の 3 点は必携である。2023 年度「医療コミュニケーション」でも活用する。  
必携①岡本真一郎「言語の社会心理学」中央公論新社(中公新書) 2013  
必携②藤田依久子 「対人コミュニケーション入門[上]」第 2 版 ナカニシヤ出版 2009  
必携③中間玲子(編) 「自尊感情の心理学」金子書房 2016